

2016年7月15日 発行

総務幹事からのご挨拶

北條 洋

(福島県立医大会津医療センター病理診断科 (兼)同医学部病理病態診断学講座)

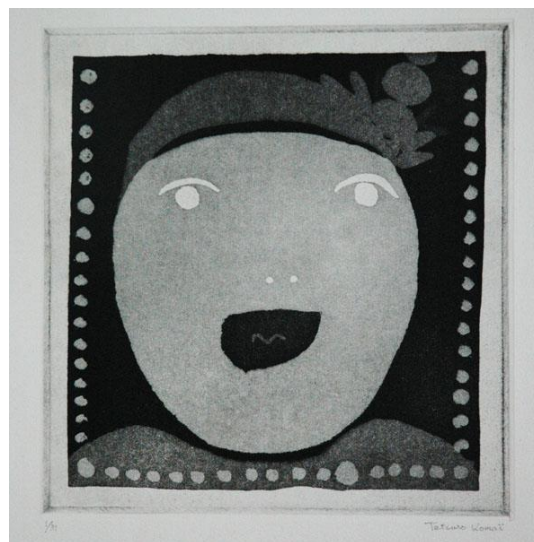
季節は変わり、まもなく梅雨明け、暑い夏を迎えようとしています。会津の田んぼも日毎に稲の背丈が伸び、磐梯山の姿も緑濃く、会津医療センター3、4階の東西が遠方まで見渡せるちょっと怖いガラス張りの開放的な渡り廊下でこの初夏の風景を満喫することができます。しかし、例年にない冬期降雪量の減少から会津米の品質への影響も懸念されています。会員の皆様の地域ではどんな初夏を迎えていますでしょうか。

第105回日本病理学会総会の日本小児病理研究会コンパニオンミーティングは日本病理学会小児腫瘍分類委員会の協力により滞りなく終了することができました。「小児胚細胞腫瘍の臨床的および病理学的特徴」のテーマで、横浜市立大学医学部がん総合医科学 宮城悦子先生には「悪性卵巣胚細胞腫瘍の臨床的取扱いについて(若年患者治療現場のジレンマ)」、大阪市立総合医療センター病理診断科 井上健先生には「小児胚細胞腫瘍の臨床病理学的特徴」、静岡県立こども病院臨床病理科 岩淵英人先生には「小児胚細胞腫瘍小児胚細胞腫瘍の発症機序」と題してお話しいただきました。「胚細胞腫瘍アトラス」発刊を前に焦点を絞った充実したタイムリーな発表でリクエストが切望される内容でした。3人の演者の先生、座長を務めて頂いた神奈川県立こども医療センター病理診断科 田中祐吉先生、岡山大学病院病理診断科 柳井広之先生、オーガナイザーの埼玉県立小児医療センター病理診断科 岸本宏志先生に心より感謝申し上げます。

第36回日本小児病理研究会学術集会は2016年8月27日(土)九州大学大学院医学研究院形

態機能病理学 小田義直先生のお世話により九州大学医学部で開催されます。今回は形式を変え午前の部は小児病理診断講習会となり、研究会の開催時間が延びることとなりました。翌日に予定のある皆様にはご迷惑をおかけしますが、小児病理専門医育成の趣旨を是非ご理解頂きたいと思います。講習会のテーマは横紋筋肉腫です。会員の皆様が疑問に思っておられるJRSG、観察研究の症例がありました事務局にお知らせ下さい。予定検討症例は6例程度ですので選ばれないことがあることを了承下さい。詳細は会報の案内をご覧ください。多数の皆様の参加をお待ちしております。前日の懇親会でも大いに語らしましょう。

最後にこどもを描いた好きな作品をご覧くださいと思います。1973年製作、駒井哲郎「笑う幼児」、銅版画(アクワチント)です。大きな声で笑うおらかなこどもの姿が目の前に浮かび、声が聞こえてきませんか。ほっこりしていただけると嬉しいです。



第36回日本小児病理研究会学術集会のお知らせ

2016年8月27日(土)開催

日時: 2016年8月27日(土) 12:30~18:00
(予定)
会場: 九州大学医学部 中央会議棟 多目的会議室
世話人: 小田義直(九州大学大学院医学研究院形態機能病理学)
内容: 主題 骨軟部腫瘍
・教育講演: 骨軟部腫瘍の臨床と病理
遠藤誠先生(国立がん研究センター中央病院)
松山篤二先生(産業医科大学)
・シンポジウム: 横紋筋肉腫-臨床と病理の最前線
木下義晶先生(九州大学小児外科学)
北條洋先生(会津医療センター)
久田正昭先生(九州大学小児外科学)
・小児病理診断講習会: 横紋筋肉腫(6例予定)
検鏡時間 8:00-10:00、
症例解説 10:00-11:00(予定)
参加費: 3,000円
演題発表の申し込み・問い合わせ先:
・演題名(主題か一般演題かを明記)、出題者、所属名、抄録(600字以内)をMS wordファイルまたはテキストファイル形式にて、

下記メールアドレスにお送りください。
・申し込み締め切り: 2016年7月29日(金)必着
・九州大学大学院医学研究院形態機能病理
孝橋賢一(こうはし けんいち)
電話: 092-642-6061
E-mail: contact@surgpath.med.kyushu-u.ac.jp

○生涯学習単位として、日本病理学会病理専門医資格更新単位(参加5単位、筆頭発表2単位)、日本専門医機構専門医資格更新単位(学術業績・診療以外の活動実績)(参加1単位、筆頭発表1単位)が認められています。

○小児病理診断講習会の症例募集を行っております。JRSG 症例あるいは中央診断へ提出された症例で検討希望の症例がありましたら、yoshioka-t@ncchd.go.jp (国立成育医療研究センター病理診断部 義岡孝子)へご連絡ください。〆切は7月22日(金)まで延長いたします。

2016年度小児腫瘍症例検討会のお知らせ

2016年8月26日(金)開催

小児腫瘍症例検討会を、第36回日本小児病理研究会の開催に合わせて下記の通り開催いたします。本会では稀な小児腫瘍や診断困難例のみでなく、典型的な腫瘍も提示されます。症例のプレパラートを当日も閲覧可能で、その所見を基に討議する会で、病理医のみでなく、小児病理に関心を持たれている臨床医にも広く公開されています。

日時: 2016年8月26日(金) 13:30-18:00
(予定)
会場: 九州大学医学部 中央会議棟 多目的会議室
主催: 日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会
内容:
・2016年度小児腫瘍症例検討会(例年約25症例)
・教育講演

小児・若年者の消化管腫瘍の病理-間葉系腫瘍、ポリープ性病変について

山元英崇(九州大学形態機能病理学)

・参加費: 1,000円

問い合わせ先:

神奈川県立こども医療センター病理診断科

田中水緒

電話: 045-711-2351

E-mail: mio@zc4.so-net.ne.jp

○生涯学習単位として、日本病理学会病理専門医資格更新単位(参加5単位、筆頭発表2単位)、日本専門医機構専門医資格更新単位(学術業績・診療以外の活動実績)(参加1単位、筆頭発表1単位)が認められています。

○症例検討会終了後、合同懇親会を開催します。今回は事前予約制としますので、参加を希望される方は 7月29日までに下記へ連絡をお願いします。

(連絡先: contact@surgpath.med.kyushu-u.ac.jp)

事務局からのご挨拶

義岡 孝子

(国立成育医療研究センター 病理診断部)

会員の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。今年2月、長年にわたり、日本小児病理研究会事務局を務めていただいた松岡健太郎先生より日本小児病理研究会事務局業務を引き継ぎました。ご挨拶が遅れましたこと、5月の日本病理学会総会の前に会報の発行できなかつたことにつきまして心よりお詫び申し上げます。

第36回日本小児病理研究会学術集会開催の前に何とか会報第68号を発行することができました。会報内にご案内いたしましたとおり、今年の小児病理研究会は九州大学の小田義直教授にお世話いただき、密度の濃いプログラムを用意いた

だいております。また、新しい企画として、横紋筋肉腫をテーマに小児病理診断講習会を開催することになっております。会員の皆様にはぜひご出席いただきます様、お願い申し上げます。

歴史ある日本小児病理研究会の事務局を務めさせていただくにあたり、これまで同様、年3回の会報の発行とともにホームページを充実したものにしていきたいと考えております。

至らぬところが多々あると存じますが、今後とも会員の皆様にはご指導、ご鞭撻をいただきます様、よろしくお願いたします。

会費納入のお願い

本会規約により、年会費は5,000円となっております。下記口座へお振込みいただきたく存じます。ご不明な点がございましたら、事務局義岡までお問い合わせください。

○ゆうちょ銀行

【記号】 10090

【口座番号】 86612841

ニホンショウニビョウリケンキュウカイ

○他の金融機関からお振込みの場合

【店名】 ○○八 【店番】 008

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 8661284

日本小児病理研究会会報第68号

平成28年7月15日発行

編集・発行 日本小児病理研究会事務局

<http://jspp.info/>

〒157-8535

東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター病理診断部

TEL: 03-3416-0181, FAX: 03-5727-2879

E-mail: yoshioka-t@ncchd.go.jp